

2019年3月期

証券コード： 5938

# 第1四半期決算説明資料(IFRS)

(2018年4月 – 2018年6月)

株式会社 LIXILグループ

2018年7月31日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

## 2016年3月期よりIFRSに移行しています 各段階利益の名称の違いは以下のとおりです

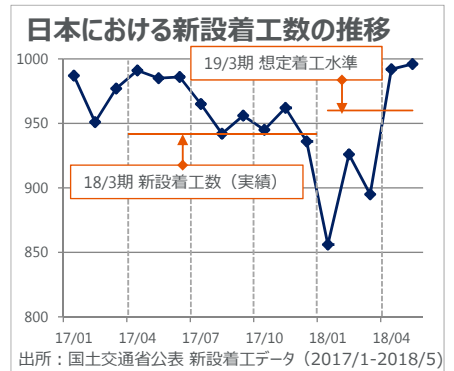
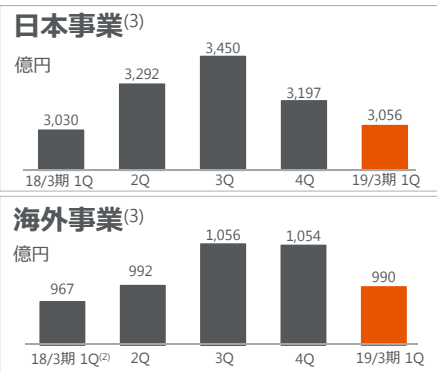
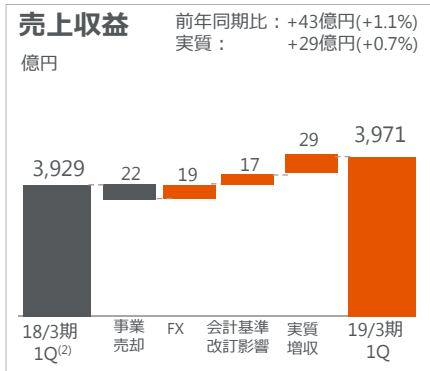
日本基準	IFRS (当社財務報告)
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益 (CE)</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益 (CE)**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

ペルマスティーザ社の株式売却を2017年8月に決定したことに伴い、ペルマスティーザ社及びその子会社の事業を「非継続事業」に分類しています。比較のため前期も同様に組替を行っています。

## 2019年3月期 第1四半期業績ハイライト – 売上収益

➤ LWT事業<sup>(1)</sup>が増収を牽引。直前四半期の新設着工件数が落ち込むも、国内は前年同水準を維持し、善戦。海外は積極的マーケティング投資が奏功し、増収



### ■ 売上収益

対前年同期：増収（実質：日本+3億円、海外+26億円）

対直前四半期：減収（日本-141億円、海外-64億円）

#### ✓ 国内

- 直前四半期（1-3月）に新設着工数が落ち込むも、国内は前年同期水準を維持し善戦
- 18/3期に引き続き、浴室・キッチンなどが好調。売上の伸びを牽引

#### ✓ 海外

- アジアにおいて将来成長に向けた積極的なマーケティング投資や従来から取り組んできたビジネスモデルの実験が奏功し、1Q業績は計画通り好調に推移
- 下期が必要期であり、対直前四半期では減収。但对前年同期比では増収

**LIXIL**

(1) 19/3期1Qより、報告セグメントを変更し、キッチンテクノロジー事業をウォーターテクノロジー事業に含めています

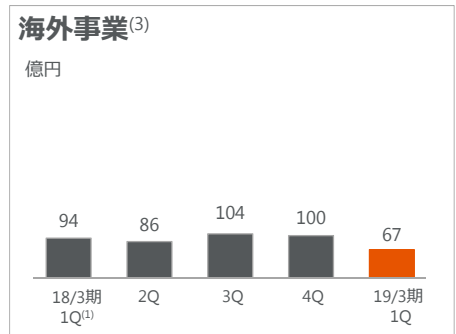
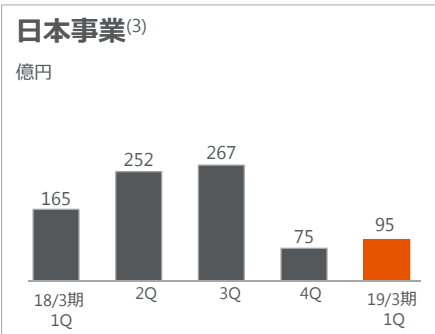
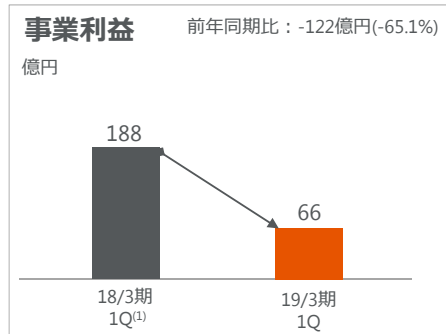
(2) 18/3期8月にベルマステリーザ社およびその子会社について売却の決定を行ったことにより、同社グループから生じる損益は遡及して非継続事業に分類し別掲しています

(3) 連結調整前

3

## 2019年3月期 第1四半期業績ハイライト – 事業利益

➤ 第1四半期の利益率低下のうち2/3は想定どおり。利益率向上に向けた施策の着実な実行により体質改善活動を推進



### ■ 事業利益

対前年同期：減益（日本-71億円、海外-27億円、連調等-24億円）

✓ 国内 - 71億円の減益のうち36億円は期初時点で想定されていたものであり、35億円は計画外要因による低下

#### 共通

- 4月より新取引制度を導入し、新組織体制の下、取引先各社との一定期間の旧価格保証を含む丁寧な交渉を企画
- 計画段階で旧価格保証による粗利の減少(13億円)、原材料価格上昇影響(15億円)、LBT前期一過性要因剥落(7億円)は、織り込み済み
- 新取引制度対応のための人件費等営業活動費の増加（21億円）
- 販管費の抑制・コスト改善に努めるも、減益要因に

LHT - 直前期（1-3月）の着工件数の落ち込みにより、第4四半期に引き続き操業度低下によりLHT（装置産業）での粗利率低下

LWT<sup>(2)</sup> - 商品ミックスの変化により減益

✓ 海外 - 概ね計画通り

LWT（前年同期比-24億円）

- アジアでの将来成長のための計画通りの先行投資（大型ショールームなど）により減益
- 取引先事業不振により南アフリカの子会社における業績回復には、当初見込みよりもやや時間を要する見通し

**LIXIL**

(1) 18/3期8月にベルマステリーザ社およびその子会社について売却の決定を行ったことにより、同社グループから生じる損益は遡及して非継続事業に分類し別掲しています

(2) 19/3期1Qより、報告セグメントを変更し、キッチンテクノロジー事業をウォーターテクノロジー事業に含めています

(3) 連結調整前

4

## 国内事業における営業改革 – 収益性の改善・競争力あるコストの実現にむけて

### 継続的な収益性低下要因の根本的解決に向け、2018年4月より新取引制度を導入

#### 国内事業における課題

- 1) 主要商品の販売価格は減少傾向で推移
  - ・ 経過年数とともに販売価格は低下
  - ・ 低粗利品の構成比が拡大
  - ・ 得意先構成比の変化
- 2) 個別対応の営業活動による生産性の低下

#### 施策

- 1) 売価低下に対する歯止め
  - 商品開発サイクルの高速化
  - 差別化商品・ハイエンド商品への移行
- 2) 営業活動の合理化=新取引制度

#### 制度導入の背景

- ・ 機能と規模に基づく合理的な価格決定
- ・ 市況の変化に合わせた機動的な価格対応を図れる体制を築く

#### 当第1四半期への影響と今後の見通し

- ・ 移行措置（旧価格保証）期間延長による利益率の低下（4月終了予定→6月）
- ・ 予想以上の大量データ処理による登録作業の遅延
  - ⇒ 当初想定以上の利益率低下が発生

#### 対応状況

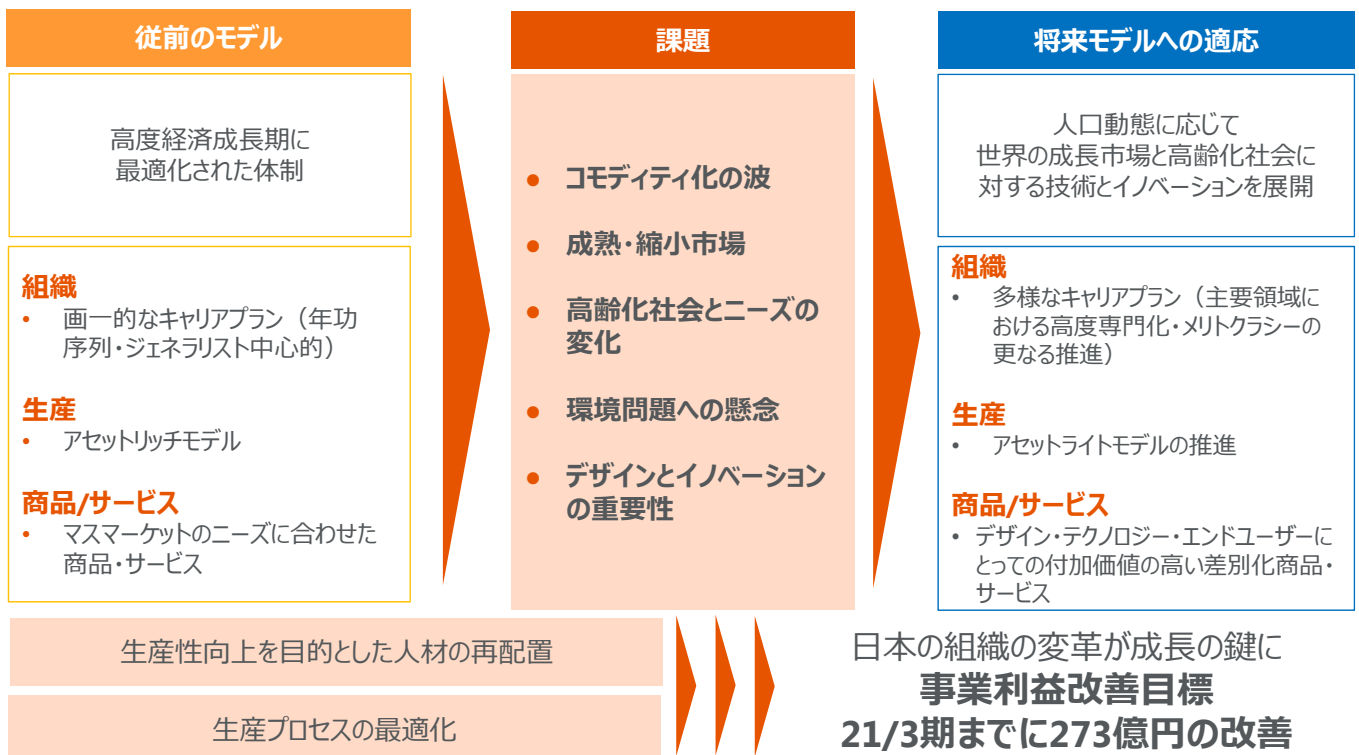
- ・ 移行措置（旧価格保証）は6月中に終了
- ・ データ登録作業は9月までに完了予定

#### 効果

- ・ 生産性の向上
- ・ 10月以降に順次予定している価格改定の浸透はスムーズに

## 日本事業における施策 – 生産性の高い組織への転換

### 生産性向上のための包括的な施策を実行



# 日本事業における施策 – 2021年3月期までに行う生産性改革

## 生産性改革を支える主な施策

項目	主な施策	目標
生産性向上を目的とした人材の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>インソーシング：フルタイム従業員によるサポートを必要とする分野への人材配置</li> <li>Robotic process automation (RPA) の導入（自律的定例業務の自動化）推進</li> <li>FIT<sup>(2)</sup>プログラムを通じた間接部門の業務効率の向上と直接部門の強化</li> <li>階層を減らし、組織を整流化（スパン・オブ・コントロールの見直し）</li> <li>働き方改革の更なる推進</li> </ul>	<p>効果発現見込時期および見込額</p> <p>273億円</p> <p>170億円</p> <p>95億円</p> <p>8億円</p> <p>19/3期 20/3期 21/3期</p>
生産プロセスの最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>SKU削減による生産ライン数削減</li> <li>プラットフォーム化・部材の共通化</li> <li>自動化・生産プロセスの合理化</li> </ul>	

273億円<sup>(1)</sup>の改善を目指す  
[21/3期の事業利益 (予想) の約20%]

(1) 18/3期をベースとした場合の3年間累計の事業利益改善目標額  
(2) FIT (Focus on the Important Tasks(重要なタスクに注力する))

## (事例) 間接部門費・開発コスト削減施策の進捗：RPA

### 実務現場の従業員を自走可能なRPA人材に育成。知識共有、即時疑問解消のためのプラットフォームを整備することにより、開発経験者500人の育成を年度内に見込む

RPA開発可能従業員数

500人

206人

1Q末時点

19/3期末目標

1プロセス導入ごとに、年間約160時間の業務の効率化効果を見込む



①RPA研修を内製し月4回実施。さらにWorkplaceの動画配信やコミュニケーションにより自習可能に



③ヘルプデスクを設置し開発者のスキルフォロー。遠隔地はSkype等対応



②RPA人材が創造し蓄積したRPA知識は「ナレッジマネジメントツール」で社内共有



④その他のRPA人材育成施策

- 社内検定試験
- 野良口ホ対策
- 助け合いのRPA開発文化醸成

## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

### リフォーム商材売上

億円	18/3期 1Q 実績 <sup>(1)</sup>	19/3期 1Q 実績	前年 同期比
リフォーム商材売上 <sup>(注)</sup>	739	725	-1.9%
リフォーム比率	37%	37%	-0.6pt

(注) LIXILジャパンカンパニーとビルリフォーム子会社の売上合計(内部取引消去後)

4月からの新組織体制の下で新取引制度の浸透に向けた活動に優先的に取り組んだため、当第1四半期のリフォーム売上は減少

### リフォーム加盟店の推移

店	17年 3月	18年 3月	18年 6月
LIXILリフォームショップ (FC)	519	546	553
LIXILリフォームネット (ボランティア)	13,227	12,602	12,213
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,365	3,705	3,713

### 事業セグメント別リフォーム商材売上比率（前年同期比）

事業 セグメント	18/3期 1Q	19/3期 1Q	差
LWT	44%	44%	-0.6pt
LHT	33%	33%	0.0pt
LBT	26%	22%	-4.0pt
国内・計	37%	37%	-0.6pt



#### LIXILリフォームフェア2018

リフォーム需要の顕在化のために、エンドユーザーを対象に全国5会場で開催  
エンドユーザー来場者数は4会場終了時点で前年比+9%



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています。

9

## LWT（海外事業） - エンドユーザーに焦点を当てたユニークなビジネスモデルを展開

### アメリカ、欧州、アジア市場において、フル・バスルーム・ソリューション・プロバイダー<sup>(1)</sup>となるべく、当第1四半期においてはアジア市場への投資を実行



左) 2018年5月  
ベトナムではLIXIL初の旗艦店となるショールームをハノイにオープン。  
INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM商品を扱う。



左) 2018年6月  
GROHE、DXVブランドを扱う  
新ショールームオープン  
(中国 常州市)

右) 2018年6月  
「Full home Flagship Store」  
オープン (上海)

インテリア・エクステリア・サッシ・  
水回り商材など幅広い商品を  
総合的に提案。展示・販売から施  
工、アフターケアまでの窓口を一元化  
した初めてのショールーム

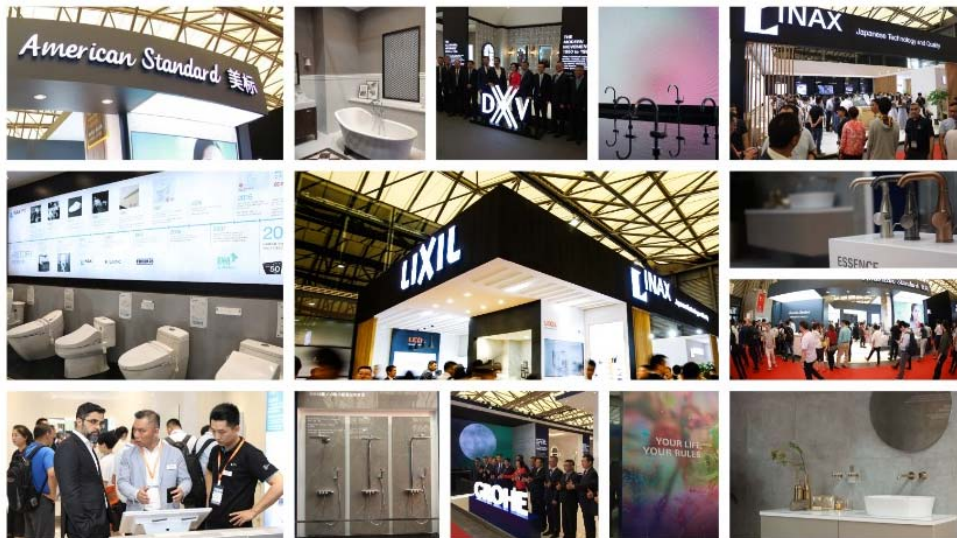


(1) 2018/3期決算説明資料 p7：アメリカ地域では浴室・水栓金具、欧州・中東では衛生陶器・浴室、アジアでは浴室事業に注力

10

## LWT（海外事業）における差別化商品・サービスの展開

中国のエンドユーザー向けに日本の技術力と魅力的なデザインを備えた商品を紹介  
 - 第23回 アジア最大規模の見本市「Kitchen & Bath China 2018」に出展（6月5-8日）



- 日本の技術とデザイン賞を受賞した魅力的なデザインを持つ商品をLIXIL、INAX、GROHE、American Standard、DXVの5ブランドから紹介
- 昨年からのマーケティング活動が奏功し、生産体制も整い、LIXILブランドからは、アジア地域にシステムバスを投入。開発者、メディア、エンドユーザーに好評価
- これまで、北米でのみ展開していたDXVブランド商品を初めて北米以外にも展開

LIXIL

11

## LHT - エンドユーザー目線の商品開発および提案・海外市場への挑戦

2019年3月期・中期経営計画の主要施策の進捗

差別化商品 - 「枠にはまらない開放感」 TOSTEM LW（2018年8月発売）

“窓”がもつ本来の価値や役割（心地よい窓辺をつくる／外と内をつなぐ）を具現化し、LIXILが持つ最新の技術・機能を融合させ開発した新しい窓「LW（エルダブリュー）」をTOSTEMブランドから2018年8月に全国で発売



アジア市場へのサッシ事業の強化



LIXIL Window Systems Private Ltd. を設立（旧 Star Alubuild Pte. Ltd.）

事業内容：一般消費者向け戸建住宅、および、マンションやオフィスなどの大型プロジェクト

インド政府が推進する国内の製造業振興政策「Make in India（メイク・イン・インディア）」の方針に沿い、インドのManesar（マナーサル）工場では戸建住宅の製品を生産



中国のリノベーション市場に向けて、住宅向け窓サッシ商品を販売開始

LIXIL

12

## UNICEFとのパートナーシップを通じた衛生課題の解決に向けた取り組みの拡大



**3人に1人**  
が、安全で衛生的な  
トイレを使用  
できない。



**1日に約800人**  
の5歳未満の子どもが、  
不衛生な水と衛生環境  
に起因する下痢性疾患  
によって死亡。



**45億人**  
が、安全に管理  
された衛生設備  
を使用できない。



**貴重な学校生活**  
が、水と衛生環境に  
起因する疾病と、学校に  
おけるトイレの未整備  
のために失われる。



世界で年間  
**2千億ドル**  
以上の経済  
損失が発生。

- これまでにない新しいパートナーシップモデル
- 3年契約（オプションとして5年に延長可）
- 各国での活動とマーケティングキャンペーンを通して、取り組みを強力に推進



LIXIL 詳細については、プレスリリース参照（2018/7/26） [http://www.lixil.com/jp/news/pdf/180726\\_UNICEF\\_LIXIL\\_J.pdf](http://www.lixil.com/jp/news/pdf/180726_UNICEF_LIXIL_J.pdf)

13

## 事業構造の見直しと組織の簡素化に関する取り組みの状況

当第1四半期決算発表日（7/31）までに実施した取り組みの状況は次のとおりです

社名/取引内容	セグメント	決定時期	売却/取得理由	（ご参考）18/3月期			
				売上収益	事業利益	当期利益	総資産
LIXIL鈴木シャッター、 およびその子会社3社 100%株式譲渡	LHT 国内	2018/7	事業ポートフォリオの 見直しと事業の簡素化	142億円	9億円	7億円	152億円

➤引き続き、成長基盤の整備を目的としたバランスシートの改善と組織の簡素化を推進してまいります

## ご参考



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



流通・小売り

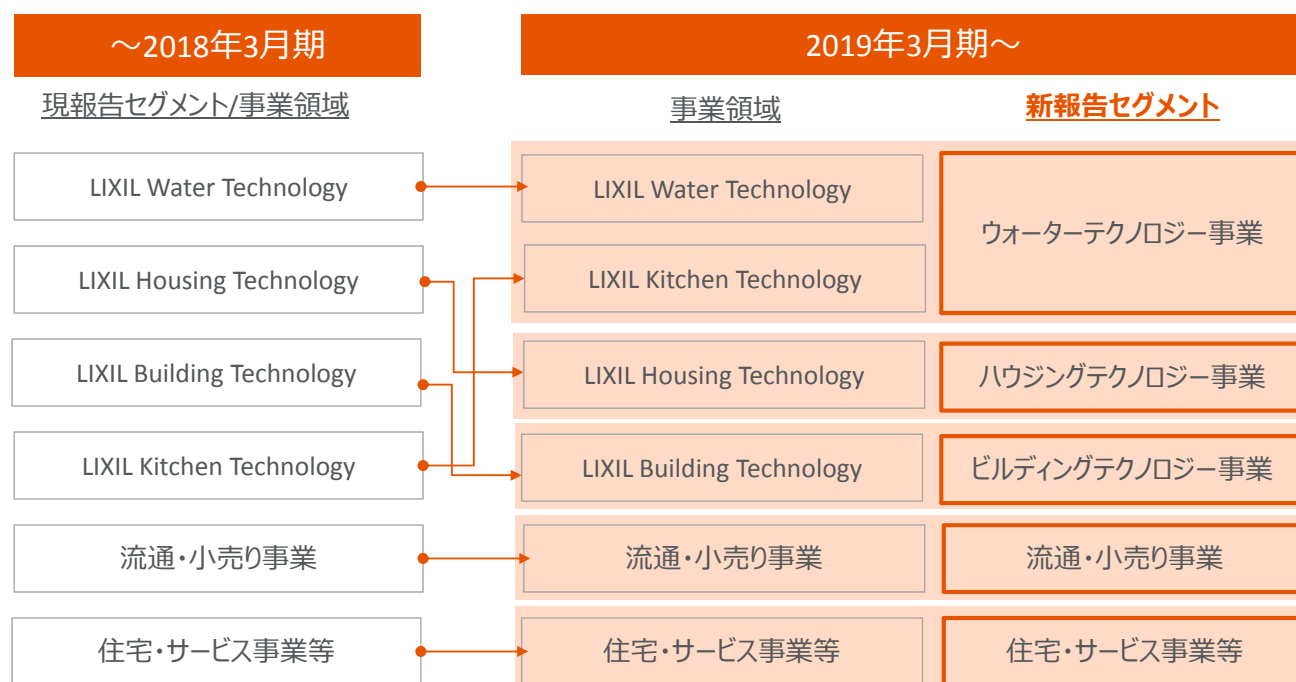


住宅・サービス

## 開示セグメントの変更（2019年3月期 第1四半期より）

### 成長・利益率向上戦略の加速を促す組織体へ

- 水回り事業（LWT）とキッチンテクノロジー事業（LKT）を統合し、より一層の事業間融合を図る





## 第1四半期（3ヶ月）連結業績結果

億円	(A)	(B)-(A)	(B)	(C)	(C)-(B)			(D)	(C)/(D)	
	18/3期1Q実績	非継続振替額	18/3期1Q実績	19/3期1Q実績	前年同期比			19/3期上期	上期進捗率	
	前年度報告額	差し引き <sup>(4)</sup>	前年度遡及修正後報告額	実績	増減			予想(5/7開示)	%	
					うち為替影響	(C)-(B)	%			
継続事業	売上収益	4,319	-390	3,929	<b>3,971</b>	19	43	1.1%	8,370	47.4%
	売上総利益	1,386	-32	1,354	<b>1,311</b>	9	-42	-3.1%	2,880	45.5%
	(%)	32.1%	-	34.5%	<b>33.0%</b>	-	-1.4pt	-	-	-
	事業利益 <sup>(1)</sup>	187	1	188	<b>66</b>	3	-122	-65.1%	450	14.6%
(%)	4.3%	-	4.8%	<b>1.7%</b>	-	-3.1pt	-	5%	-	
非継続事業を含む	非継続事業を含む四半期利益 <sup>(2)</sup>	102	0	102	<b>31</b>	-	-72	-70.1%	280	10.9%
	EPS (円)	36	0	36	<b>11</b>	-	-25	-70.2%	97	11.0%
継続事業	EBITDA <sup>(3)</sup>	352	-10	343	<b>230</b>	-	-113	-32.9%	-	-
	(%)	8.2%	-	8.7%	<b>5.8%</b>	-	-2.9pt	-	-	-

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費(非継続事業は除く)  
(4) 非継続事業からの損益に振替え額 (バルマステイラーザ社株式譲渡の決定に基づく振替え)

17

## 第1四半期（3ヶ月）セグメント別業績概況

(億円)		第1四半期 3ヶ月				
		18/3期1Q	19/3期1Q	増減		
				金額		%
				うち為替影響		
LWT <sup>(1)</sup>	売上収益	1,927	<b>1,980</b>	19	53	2.7%
	事業利益	164	<b>120</b>	3	-44	-27.1%
LHT	売上収益	1,298	<b>1,275</b>	0	-22	-1.7%
	事業利益	69	<b>26</b>	0	-44	-63.1%
LBT	売上収益	219	<b>233</b>	0	14	6.3%
	事業利益	-4	<b>-12</b>	-0	-8	-
流通・小売り事業(D&R)	売上収益	439	<b>435</b>	-	-4	-1.0%
	事業利益	26	<b>23</b>	-	-2	-8.3%
住宅・サービス事業等(H&S)	売上収益	115	<b>123</b>	-	9	7.6%
	事業利益	4	<b>5</b>	-	0	10.9%
全社/連結調整	売上収益	-69	<b>-75</b>	-	-6	-
	事業利益	-71	<b>-96</b>	-	-24	-
合計	売上収益	3,929	<b>3,971</b>	19	43	1.1%
	事業利益	188	<b>66</b>	3	-122	-65.1%

LIXIL

(1) 19/3期1Qより、報告セグメントを変更し、キッチンテクノロジー事業をウォーターテクノロジー事業に含めています

18

## Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

### 2019年3月期 1Q業績

4月-6月  
億円

		19/3期 1Q	YoY 現地通貨 ベース	19/3期 通期予想		
地域別売上 (1)	アメリカ	363	+4%		+7%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	397	+0%		+4%	
	アジア太平洋地域*	257	+12%		+10%	
	日本	1,020	+2%		+3%	
	連結調整	-56				
	<b>Water Technology</b>	<b>1,980</b>	+3%	<b>事業 利益率%</b>	<b>8,652</b>	+4% <b>事業 利益率%</b>
事業利益 (1)	アメリカ	13	-43%	4%	+31%	8%
	欧州、中東、 アフリカ地域	51	-6%	13%	+19%	15%
	アジア太平洋地域*	18	-40%	7%	+17%	12%
	日本	50	-29%	5%	+7%	8%
	連結調整	-13				
	<b>Water Technology</b>	<b>120</b>	-27%		<b>825</b>	+12%
		6.0%	-2.5pt		9.5%	

トイレのための新素材「アクアセラミック」搭載の衛生陶器の出荷台数は、まもなく100万台達成の見込み



輝きが100年以上続く、画期的な発明。(2016年4月発売開始)



DXV AT200LS  
(一体型シャワートイレ)  
(北米地域、2018年4月発売)

\*前年同期比を計算する際に比較を容易にするため、18/3期1Qの実績数値より期中事業売却した子会社の売上収益・事業利益をアジア・パシフィックより除いて伸び率を計算しています。  
(売上収益22億円、事業利益0億円を控除)

LIXIL

(1) 地域別はマネジメントベース、合計は制度会計ベース  
制度連結会計 為替レート: 19/3期 1Q 実績 1 USD=108.71円、1 EUR=129.39円、19/3期 前提 1 USD=115円、1 EUR=135円  
マネジメントベース為替レート: 19/3期 1 USD=115円、1 EUR=135円と比較

19

## Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

### 2019年3月期 1Q業績

4月-6月  
億円

		19/3期 1Q	YoY	19/3期 通期予想	
地域別売上	日本	1,246	-1.0%		+1%
	海外	30	-24%		-20%
	<b>Housing Technology</b>	<b>1,275</b>	-2%	<b>5,395</b>	+1%
事業利益	<b>Housing Technology</b>	<b>26</b>	-63%	<b>290</b>	+5%
	事業利益率	2.0%	-3.3pt	5.4%	

「枠にはまらない開放感」  
TOSTEM LW  
(2018年8月発売予定)



LIXIL

20

## Building Technology / ビルディングテクノロジー事業

### 2019年3月期 1Q業績

4月-6月 億円		19/3期 1Q	YoY	19/3期 通期予想	
地域別売上	日本	233	+6.3%		+6%
	海外 <sup>(1)</sup>	-	-		-
	Building Technology	233	+6.3%	1,130	+6%
事業利益	Building Technology	-12	-8	25	-27%
	事業利益率	赤字	-	2.2%	

- 物件の完工タイミングのずれにより、事業利益は赤字



ハイブリッド断熱サッシ PRESEA-H (プレセア)

## 流通・小売り事業 (D&R)、住宅・サービス事業等 (H&S)

### 2019年3月期 1Q業績

4月-6月 億円		19/3期 1Q	YoY	19/3期 通期予想	
D & R	売上 <sup>(1)</sup>	435	-1.0%	1,770	+2%
	事業利益 <sup>(1)</sup>	23	-8.3%	65	-6%
	事業利益率 <sup>(1)</sup>	5.4%	-0.4pt	3.7%	

(1) IFRSベース

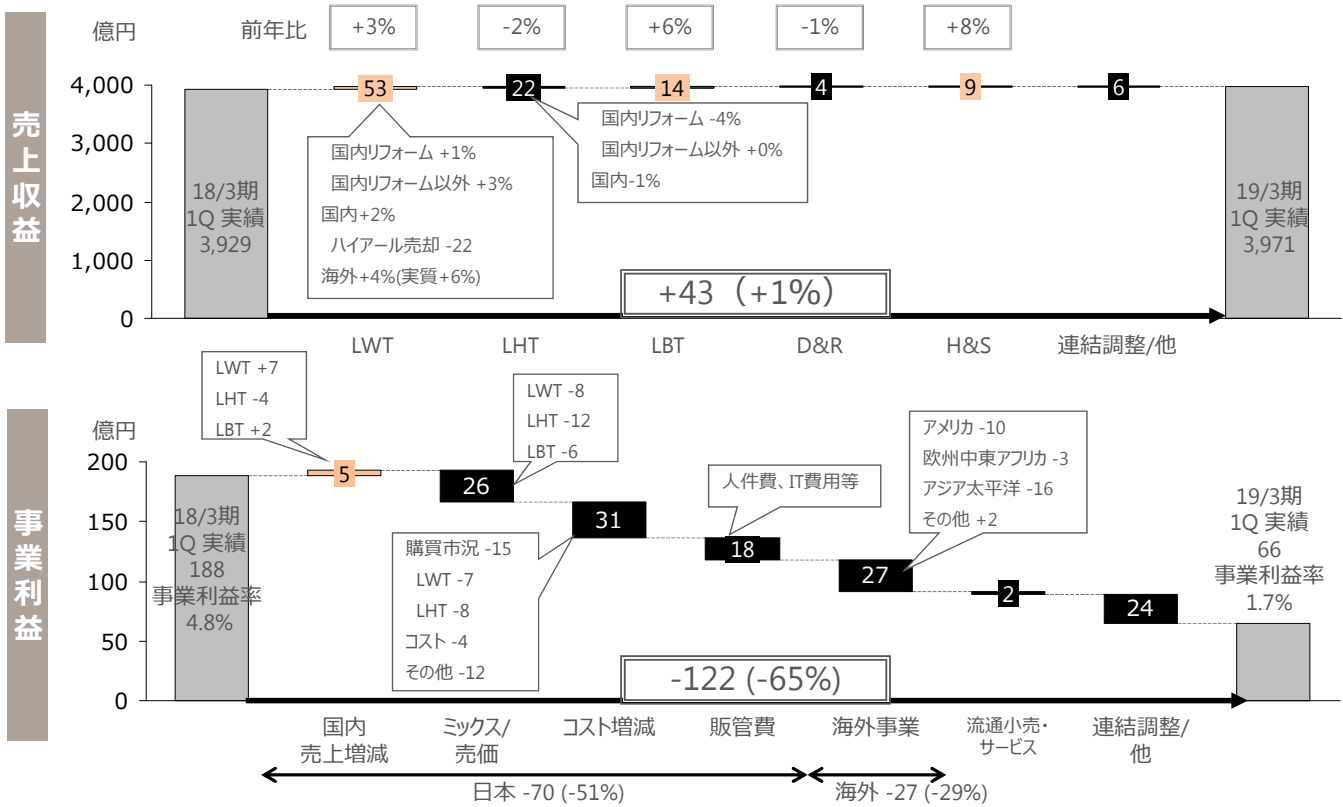
- 当第1四半期において、2店舗新規出店
- リフォーム商材売上構成比率  
37%→39%  
引き続き、今後3年間でリフォーム商材売上構成比率50%をめざす (R-50)

### 2019年3月期 1Q業績

4月-6月 億円		19/3期 1Q	YoY	19/3期 通期予想	
H & S	売上	123	+7.6%	570	+9%
	事業利益	5	+11.1%	35	+38%
	事業利益率	4.0%	+0.2pt	6.1%	

- 重点施策である新事業領域・非新築領域への注力により増収増益
- 新築以外<sup>(2)</sup>売上構成比  
29%→36%

## 第1四半期 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

23

## 連結財政状態

億円	[A]	[B]	[B]-[A]
	18/3月末	18/6月末	増減
現金及び現金同等物	1,388	1,007	-380
営業債権及びその他債権	3,433	3,231	-202
棚卸資産	2,179	2,297	118
売却目的で保有する資産	1,802	1,841	39
その他	12,270	12,256	-13
<b>資産合計</b>	<b>21,071</b>	<b>20,633</b>	<b>-438</b>
営業債務及びその他の債務	3,390	3,257	-132
有利子負債	6,879	6,684	-195
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	1,275	1,332	57
その他	3,032	2,989	-43
<b>負債合計</b>	<b>14,576</b>	<b>14,263</b>	<b>-313</b>
自己株式	-490	-489	1
その他	6,986	6,860	-126
<b>資本合計</b>	<b>6,496</b>	<b>6,370</b>	<b>-126</b>
(1) 自己資本比率(%)	29.3%	29.3%	+0.0pp
(2) 1株当たり純資産(円)	2,128.77	2,085.58	-43.19
期末株式数(千株)	289,790	289,818	28
Net有利子負債	5,492	5,677	185

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率  
(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

24

## キャッシュフローの状況

### キャッシュフロー及び現金残高

億円	17/6期	18/6期	増減額
税引前利益	172	56	-115
減価償却費及び償却費	165	164	-1
法人所得税等支払	-114	-116	-2
運転資本	25	-72	-97
その他	16	31	15
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>264</b>	<b>64</b>	<b>-200</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>-228</b>	<b>-181</b>	<b>48</b>
(うち有形・無形資産取得支出)	-140	-170	-30
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>36</b>	<b>-116</b>	<b>-152</b>
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>-64</b>	<b>-244</b>	<b>-180</b>
⋮	⋮	⋮	⋮
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>1,204</b>	<b>1,007</b>	<b>-197</b>



※上記CFは非継続事業を含む

- CCCは、13年9月から18年3月期までの効果見込累計880億円に対し、実績 718億円。18/3期において施策がターゲットとした期間は終了したものの、今後も改善活動は継続。
- 投資効率の改善が進み投資CFは増加。一方で適正在庫水準の見直しによる運転資本の増加、及び、利益減で営業CFが減少し、FCFは152億円の減少
- 財務CFの減少により現金残高は197億円の減少

## 第1四半期（3ヶ月） その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

億円	18/3期 1Q実績	19/3期 1Q実績	増減額	注
貸貸収入	16	17	1	
有形固定資産売却益	1	0	-1	
子会社株式売却益	1	0	-1	
投資不動産売却益	0	0	0	
その他	11	6	-5	
<b>その他の収益</b>	<b>29</b>	<b>24</b>	<b>-5</b>	
貸貸原価	11	11	0	(2)「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。
有形固定資産除売却損	5	4	-1	
その他	14	9	-5	
<b>その他の費用</b>	<b>30</b>	<b>24</b>	<b>-6</b>	
受取利息	6	3	-3	
受取配当金	7	8	1	
デリバティブ評価益	-	20	20	(1)
為替差益	74	-	-74	(2)
<b>金融収益</b>	<b>87</b>	<b>32</b>	<b>-55</b>	
支払利息	11	11	0	
デリバティブ評価損	82	-	-82	(2)
為替差損	-	18	18	(1)
<b>金融費用</b>	<b>93</b>	<b>30</b>	<b>-63</b>	

19/3期 Q1実績	
デリバティブ評価益	20
為替差損	-18
Net	2 益

19/3期 Q1実績	
為替差益	-
デリバティブ評価損	-
Net	- 損

## セグメント別実績及び通期予想

単位：億円		18/3期 1Q <sup>(1)</sup>			19/3期 1Q			前年同期比 %	19/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計		国内	海外	計	前年同期比 %
LWT	売上	1,000	928	<b>1,927</b>	1,020	961	<b>1,980</b>	2.7%	4,570	4,082	<b>8,652</b>	3.5%
	事業利益	71	94	<b>164</b>	50	69	<b>120</b>	-27.1%	355	470	<b>825</b>	11.7%
	%	7.1%	10.1%	<b>8.5%</b>	4.9%	7.2%	<b>6.0%</b>	-2.5P	7.8%	11.5%	<b>9.5%</b>	+1.0P
LHT	売上	1,258	39	<b>1,298</b>	1,246	30	<b>1,275</b>	-1.7%	5,280	115	<b>5,395</b>	0.8%
	事業利益	67	3	<b>69</b>	28	-3	<b>26</b>	-63.1%	290	0	<b>290</b>	5.4%
	%	5.3%	6.5%	<b>5.3%</b>	2.3%	-	<b>2.0%</b>	-3.3P	5.5%	-	<b>5.4%</b>	+0.2P
LBT	売上	218	1	<b>219</b>	233	-	<b>233</b>	6.3%	1,130	0	<b>1,130</b>	5.6%
	事業利益	-2	-3	<b>-4</b>	-12	-	<b>-12</b>	-	25	0	<b>25</b>	-26.9%
	%	-	-	-	-	-	-	-	2.2%	-	<b>2.2%</b>	-1.0P
D&R	売上	439		<b>439</b>	435		<b>435</b>	-1.0%	1,770		<b>1,770</b>	2.0%
	事業利益	26		<b>26</b>	23		<b>23</b>	-8.3%	65		<b>65</b>	-6.3%
	%	5.8%		<b>5.8%</b>	5.4%		<b>5.4%</b>	-0.4P	3.7%		<b>3.7%</b>	-0.3P
H&S	売上	115		<b>115</b>	123		<b>123</b>	7.6%	570		<b>570</b>	9.0%
	事業利益	4		<b>4</b>	5		<b>5</b>	11.0%	35		<b>35</b>	38.1%
	%	3.8%		<b>3.8%</b>	4.0%		<b>4.0%</b>	+0.2P	6.1%		<b>6.1%</b>	+1.3P
連結調整・他	売上			<b>-69</b>			<b>-75</b>	-			<b>-417</b>	-
	事業利益			<b>-71</b>			<b>-96</b>	-			<b>-390</b>	-
LIXIL グループ	売上	3,030	967	<b>3,929</b>	3,056	990	<b>3,971</b>	1.1%	13,320	4,197	<b>17,100</b>	2.7%
	事業利益	165	94	<b>188</b>	95	67	<b>66</b>	-65.1%	770	470	<b>850</b>	12.9%
	%	5.5%	9.7%	<b>4.8%</b>	3.1%	6.7%	<b>1.7%</b>	-3.1P	5.8%	11.2%	<b>5.0%</b>	+0.4P

▶ 当第1四半期からの報告セグメントの変更により、18/3期のLWT数値を遡及修正しています。

LIXIL

(1) ヘルマステイラー社の株式売却を2017年8月に決定したことに伴い、ヘルマステイラー社及びその子会社の事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替。

27

## (ご参考) 商品・サービス別売上状況

セグメント	主要商品名	(単位：億円)				(単位：%)				
		18/3期 通期実績	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前年同期 比 (%)	前年同期比				19/3期 1Q
						18/3期				
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q						
LWT	衛生機器	1,066	242	<b>235</b>	-2.8	11.4	6.4	3.3	-2.7	<b>-2.8</b>
	バスルーム	1,022	245	<b>252</b>	2.8	11.4	7.7	9.3	9.1	<b>2.8</b>
	洗面化粧台	369	84	<b>86</b>	2.0	8.9	2.6	5.9	0.3	<b>2.0</b>
	キッチン	1,134	259	<b>263</b>	1.6	8.0	6.1	8.2	2.6	<b>1.6</b>
	タイル	296	66	<b>67</b>	2.8	1.1	3.3	-0.1	2.7	<b>2.8</b>
LHT	住宅サッシ	1,915	482	<b>446</b>	-7.4	-0.3	-4.1	-3.1	-8.0	<b>-7.4</b>
	エクステリア	1,067	274	<b>264</b>	-3.9	-0.5	-1.1	-0.4	-5.5	<b>-3.9</b>
	リビング建材	604	144	<b>144</b>	0.2	-1.3	1.0	2.8	-2.7	<b>0.2</b>
	その他LHT <sup>(1)</sup>	919	204	<b>211</b>	3.9	-18.5	-16.0	6.8	1.1	<b>3.9</b>
LBT	ビルサッシ	1,067	218	<b>233</b>	6.5	9.1	-7.4	-3.8	-4.4	<b>6.5</b>
D&R	ホームセンター売上	1,735	439	<b>435</b>	-1.0	-0.2	0.9	1.7	1.1	<b>-1.0</b>
H&S	住宅・サービス事業	523	115	<b>123</b>	7.6	-23.6	-28.0	-4.5	-18.9	<b>7.6</b>
	海外売上	4,145	982	<b>1,014</b>	3.2	5.0	15.2	8.3	11.8	<b>3.2</b>
	その他・連結調整等	786	175	<b>198</b>	-	-	-	-	-	<b>-</b>
	売上合計	16,648	3,929	<b>3,971</b>	1.1	1.3	2.1	3.8	0.5	<b>1.1</b>

LIXIL

(1) その他LHT：18/3 1Q、2Qにおける売上高の前年比減少は、2016/8に実行されたハイビック機の売却による

28

## 主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)		
通貨・単位	単位：百万米ドル		
決算期	18/3期 1Q 実績	19/3期 1Q 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	111.61	108.71	-
売上高	274	314	14%
事業利益	17	11	-37%
事業利益率	6.4%	3.5%	-2.8

決算期	18/3期 期末残高	19/3期 1Q (3ヶ月)		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート(残高は期末レート、 償却は期中平均レート)	106.24	108.71	-	110.54
のれん	230	-	0	230
無形資産	243	-2	-	241
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-

会社名	Grohe Group (グローエ) <sup>(2)</sup>		
通貨・単位	単位：百万ユーロ		
決算期	18/3期 1Q 実績	19/3期 1Q 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	123.14	129.39	-
売上高	373	359	-4%
事業利益	39	35	-9%
事業利益率	10.5%	9.9%	-0.6

決算期	18/3期 期末残高	19/3期 1Q (3ヶ月)		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート(残高は期末レート、 償却は期中平均レート)	130.52	129.39	-	127.91
のれん	1,194	-	5	1,199
無形資産	1,497	-6	-	1,491
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-



LIXIL

(1) 為替換算差額など  
(2) LIXIL Africa (旧GDWT) を含む

29

## 外部評価

### FTSE4Good Index Series

LIXIL GroupはFTSE Russell<sup>(1)</sup>の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続で選定 (2018年6月)



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

### MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構築銘柄に2年連続で選定 (2018年6月)

MSCI



2018 Constituent  
MSCI Japan Empowering  
Women Index (WIN)

#### 免責事項

株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

LIXIL

(1) FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標です。

30



この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な  
要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。